

広島西医療センター

【施設の特徴】

平成 17 年 7 月、国立大竹病院と国立療養所原病院の両病院が統合し、広島西医療センターが発足しました。一般急性期病院と療養型病院という性質の異なる組織の統合、さらには建物新築移転に伴う人工呼吸器を装着した多くの患者さんの移動という大事業とあって、統合当時はさぞかし大変なご苦労されたかと、着任 2 年目の筆者は想像しています。当院は病床数 440 床で、地域医療支援病院、災害拠点病院、救急告示病院、へき地医療拠点病院などの指定を受け、さらに難病医療拠点病院としてセーフティネットの「重症心身障害」と「筋ジストロフィーを含む神経・筋疾患」を中心とした神経筋難病の慢性期医療を担っています。



【放射線科について】

現在、8 名の診療放射線技師が勤務しており、一般撮影・マンモグラフィ・骨密度・X 線 TV・血管撮影・CT・MRI・RI・PET-CT が稼働しています。当院の特徴的な専門分野として、血液内科と神経内科がありますが、悪性リンパ腫といった悪性疾患に対する病期診断、残存腫瘍又は再発診断のための FDG-PET/CT の活用や、治験として FDG-PET によるアルツハイマー型認知症の診断に関する多施設共同研究にも貢献しています。臨床研究の質の向上を目的とし PET 撮像施設認証（認知症研究のための 18F-FDG を用いた脳 PET 撮像）を取得しています。前年度（平成 30 年度）はこの認証の更新年であり、監査機関による書類審査・訪問審査を受け、認証の更新を行いました。



【ゆるキャラ「にしーくん」のご紹介】

平成 25 年 2 月 4 日生まれの「にしーくん」は、身長 170 c m、体重 60 k g、上着はシカ模様の赤いシャツで胸には広島西医療センターのシンボルマーク、ズボンは大竹名産の鯉のぼりと大好きな広島東洋カープをイメージ、足元にはもみじ饅頭と広島県の木もみじをイメージしています。誕生以来イベントへの参加や多数の関連グッズ、封筒、名刺、各種パンフレット等に頻繁に登場しており、今や当院にはなくてはならない存在です。

【病院周辺のおすすめスポット】

広島県西端・山口県との県境に位置する大竹市にある病院周辺のおすすめスポットをご紹介します。広島城主福島正則が築いた「亀居城」の跡を公園として整備した亀居公園は、桜の名所として知られ、本丸跡地からの瀬戸内海の眺望は最高です。県の天然記念物に指定されている「蛇喰磐」(じゃぐいいわ)は、川床に無数のおう穴がある珍しい景観で、夏は多くの川遊びの人でにぎわいます。広島といえばやはりカキ。カキは大竹市の名産品のひとつでもあり、冬には「おおたけカキ水産まつり」が開催され、試食のほか即売会もおこなわれています。